

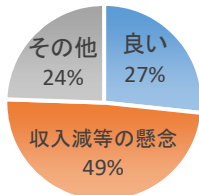
【回答者】 令和2年度(2020年度)に完成した工事(過年度発注のゼロ国・ゼロ道・補正繰越を含む)のうち、201工事

アンケート調査結果の結果(①労働者意見、モデル工事を実施して感じたこと等 ……モデル工事を履行した回答者の結果)

【結果】

- ・労働者の意見として、休日の時間増、身体的疲労の軽減等、約3割で週休2日モデル工事のメリットがあった一方、稼働日数が減ることによる収入減を懸念する意見が約半数を占めた。
- ・受注者からは、休日やプライベートの時間増、業務の効率化等、モデル工事のメリットがあった一方で、天候の影響による工程調整や下請けとの調整に苦慮したとの意見があった。
- ・モデル工事実施にあたっては、工程管理の工夫のほか、休日の取り方を工夫しているケースもあった。

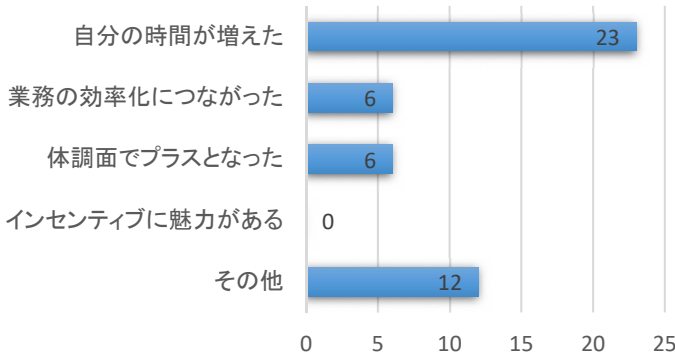
Q1:労働者意見(モデル工事について)



主な意見

- 【良い】
 - ・休日が計画的に取得できるため、私的な時間を取れるようになった
 - ・身体的疲れが軽減された
- 【収入減】
 - ・土日休日が多くなると収入減が懸念される。
- 【その他】
 - ・週休2日促進デーを月1で設定してほしい
 - ・週5日の作業内容が濃い作業になる

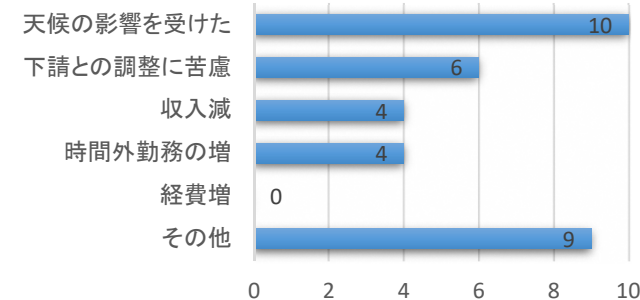
Q2:モデル工事を実施して良かった点(重複回答あり)



主な意見

- 【自分の時間の増】
 - ・計画的に休日を確保出来た
 - ・家族サービスや子供の部活の応援等ができた
- 【業務の効率化】
 - ・職員の業務意識が高まった。作業員募集確保の条件として効果がある
 - ・休日確保のため、平日作業に明確な目標を定めることができたので、現場内一体となって施工できた。
- 【体調面】
 - ・休日が増えた事により、精神・肉体的な負担が軽減した
 - ・仕事の疲労が1日と2日では違う
- 【その他】
 - ・市街地での施工であったので近隣住民及び学校等の休みの調和がとれた
 - ・建設業のイメージアップになった

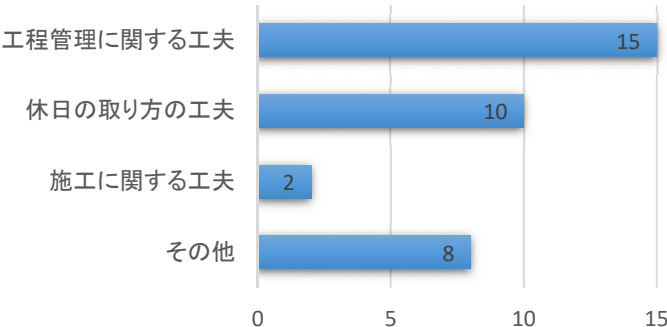
Q3:モデル工事を実施して悪かった点(重複回答あり)



主な意見

- 【天候の影響】
 - ・全体的に期間が長くなることによる冬期間の凍結や天候に左右されることなどを考慮すると工程に不安が残る
- 【下請との調整】
 - ・遠方からの外注業者がいる場合は、土曜日でも仕事をしががる傾向があるため実施が難しいと感じた
 - ・週休2日の工事が増えてきているため、全体量が不足している警備・運搬等の下請工事が更に不足してきており、工程調整に苦労した
- 【収入減】
 - ・労働者の収入減
- 【時間外勤務増】
 - ・工程に合わせると時間外作業が増える
- 【その他】
 - ・稼働日の減少で、いつも以上に工程管理に苦労した

Q4:モデル工事実施時に工夫したこと(重複回答あり)



主な意見

- 【工程管理】
 - ・生産性向上を意識しロスや遅れの無いよう準備を入念に行った
 - ・繁忙期を避けるために早期着工した
 - ・下請との工程を調整した
- 【休日の取り方】
 - ・工期全体での達成を早期から考慮し、繁忙期等は雨天の代休を使用し、工程に遅れを出さずに達成できた
 - ・繁忙期には土曜日・祝日作業を行い、閑散期には平日を休日とした
- 【施工の工夫】
 - ・週休2日を実施するために作業内容を職員、労務者全員が意見を出しあって作業した
- 【その他】
 - ・余裕を持った、労働者数及び資機材により工事を進めた

【まとめ(特に多かった意見と、その対応)】

モデル工事を実施して良かった点として、休日の確保や身体的疲労の軽減が図られたとの回答が多かった一方で、労働者の収入減を懸念する回答も見受けられた。

現在、当初設計において4週8休として、労務単価及び機械経費(賃料)及び諸経費の補正をおこなっており、4週8休の補正係数の改定等について、国の動向を注視していく。